



診療技術部だより



令和5年5月

Vol.20 中央放射線科

今回のテーマは“[乳がんの画像診断と早期発見について](#)”です。

乳がんは日本人女性のかかるがんで最も多く、9人に1人が乳がん罹患するといわれています。また、乳がんによる死亡者数も減少がみられません。しかしながら、早期に見つけて適切な治療を行えば治りやすい病気とされています。そこで近年勧められている「ブレスト・アウェアネス」についてご紹介します。

マンモグラフィと乳房超音波

当院では乳がん検診は行っていませんが、検診で要精密検査となった方や、他の医療機関からの紹介の方、CT検査等で偶発的に乳房腫瘍が疑われた方などにマンモグラフィや超音波検査（エコー）が用いられています。

たまに、患者さんから「マンモグラフィとエコーはどちらが良いの？」と聞かれることがあります。それぞれの検査にはそれぞれの利点があり、両者を併せて医師が診断を行う（総合判定）ケースも多く、どちらかが優れた検査法というわけではありません。お互いを補完することによってより精度の高い情報となるため、患者さんにとっての利益向上につながります。そのために私たちはお互いに連携して検査に携わり、講習会受講や認定取得および更新に取り組み技術向上や検査精度向上に取り組んでおります。



「ブレスト・アウェアネス」って？

ブレスト・アウェアネスは、**乳房を意識する生活習慣**です。具体的には次の4つのポイントがあります。

- **自分の乳房の状態を知る**
入浴や着替えの際などに自分の乳房を見て、触って、感じてみましょう。
- **乳房の変化に気をつける**
乳房のしこり、皮膚のくぼみや引きつれ、乳頭分泌物、乳頭や乳輪のびらんなどは注意が必要な変化です。
- **変化に気づいたらすぐ医師に相談する。**
気になる変化があれば、次の検診を待つことなく、なるべく早めに医療機関を受診してください。
- **40歳になったら2年に1回乳がん検診を受ける**
乳がん死亡率減少に有効なマンモグラフィを使用した乳がん検診が推奨されています。もしも「異常あり」という結果を受け取った場合には必ず精密検査を受けるようにしましょう。



「ブレスト・アウェアネス」は自己触診ではなく、生活習慣として気軽に取り組めることがポイントです。しかし、一般の方には必ずしも認知されていないようですので、ご家族などにもぜひお勧めください。